

枚方市京阪沿線（枚方市駅以南）

まちづくり構想

概要版

平成 20 年（2008 年）3 月

枚方市

現在、枚方市では、まちの分断要素となっている京阪本線について、大阪府、寝屋川市、京阪電気鉄道株式会社とともに、連続立体交差事業の具体化に向けて取り組んでいます。

香里園駅～枚方市駅では、開かずの踏切が多く、交通渋滞や踏切事故発生の懸念など日常生活において多くの課題を有しています。

そのため、この沿線地域の居住者を対象に実施した「光善寺駅・枚方公園駅周辺のまちづくりに関する住民アンケート調査」や、沿線のコミュニティ協議会の協力を得て設置した「京阪沿線まちづくり懇談会」の意見の結果などを踏まえ、「枚方市京阪沿線（枚方市駅以南）まちづくり構想（案）」をまとめました。この構想案についてインターネットアンケートなどを実施し、市民と共に安全で住みやすく魅力的なまちづくりを進めていくことを目的に、平成 20 年 3 月に「枚方市京阪沿線（枚方市駅以南）まちづくり構想」を策定しました。なお、このリーフレットは、本構想の主な項目を抜粋して編集した概要版です。

〈お問い合わせ〉

枚方市 都市整備部 都市計画課（TEL841-1221 内線925）

枚方市 ホームページ（<http://www.city.hirakata.osaka.jp/>）

■ まちづくりの課題

懇談会の意見やアンケートをもとに、まちづくりの課題を整理すると次のようになります。

【鉄道に関する意見】

- ・ 光善寺駅の駅舎が曲線区間。
- ・ 踏切の安全性確保、交通渋滞解消待ち時間解消が必要。
- ・ 鉄道により地域が分断。

【交通環境改善に関する意見】

- ・ 光善寺駅の交通結節機能が不足。
- ・ 歴史街道の通過交通排除が必要。
- ・ 通学路の歩道が狭く危険。

【賑わいづくりに関する意見】

- ・ 便利で安全な商店街づくりが必要。

【住環境に関する意見】

- ・ 住環境の保全・改善が必要。 など

まちづくりの課題

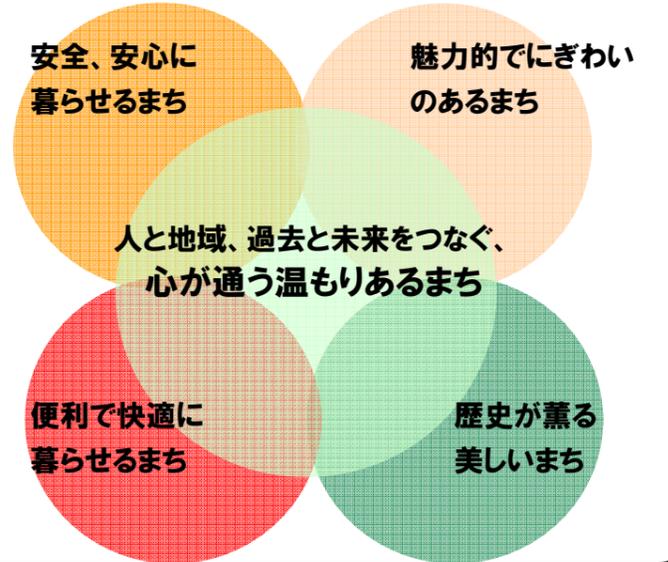
踏切の除却	駅近くでの駐車場の確保
地域分断の解消	駅近くでの駐輪場の確保
安全・安心な乗降の確保	交通環境の改善
安全な交通環境の形成	通過交通の排除
地域に必要な施設の充実	バスサービスの充実
駐輪場利用の利便性向上	住環境の改善
交差点等での安全性の向上	良好な住環境の保全
駅周辺交通機能の充実	地域の活性化
不法駐車対策の強化	商業の活性化

■ 沿線地域の将来像

まちづくりの課題を踏まえ、枚方公園駅～香里園駅を中心とした京阪沿線には、人と地域がつながり安心して快適に暮らせると共に、日常生活に便利でまちに活気があるまちづくりが求められています。

これら求められている将来の姿をもとに、沿線地域の将来像を「人と地域、過去と未来をつなぐ、心が通う温もりのあるまち」とし、次の4つの柱を中心にまちづくりを進めていきます。

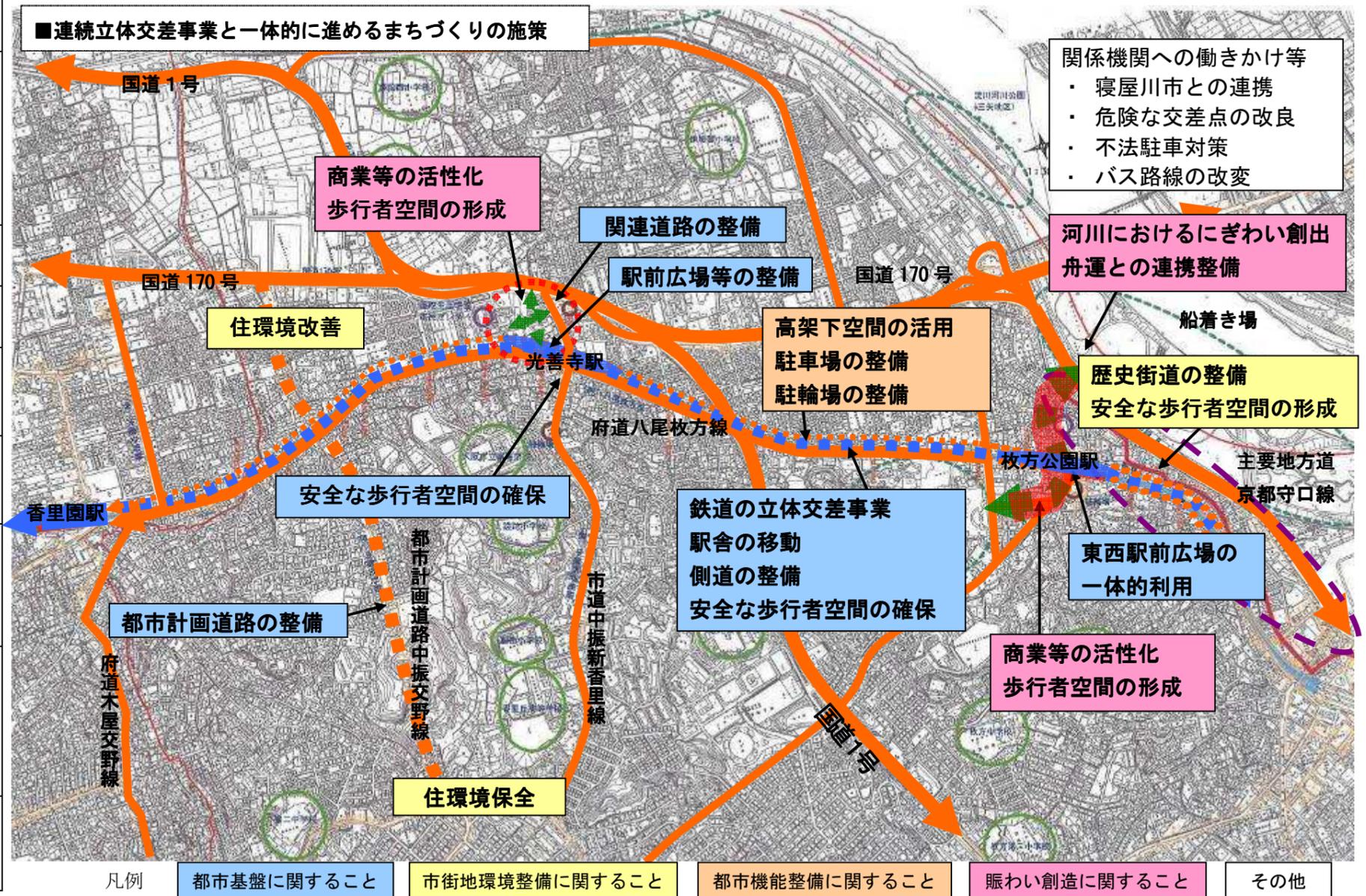
- 安全・安心に暮らせるまち
- 魅力的でにぎわいのあるまち
- 便利で快適に暮らせるまち
- 歴史が薫る美しいまち



■ まちづくり構想

沿線地域の将来像を実現していくためのまちづくりの方針・施策を整理すると次のようになります。

まちづくりの方針	まちづくりの施策
鉄道の立体交差化により踏切の問題や地域分断を解消していく。	鉄道の立体交差事業 駅舎の移動 側道の整備
現状の商店街や改札口などを配慮し、高齢者など誰もが安心して利用できる駅としていく。	都市計画道路の整備 関連道路の整備
鉄道の立体交差化と併せて適切な道路ネットワークを形成し、安全な交通環境を確保していく。	安全な歩行者空間の確保
タクシーやバスの利用も視野に入れつつ、光善寺駅周辺の交通結節機能を充実していく。	駅前広場等の整備
鉄道の立体交差化により、枚方公園駅前広場に人が集える空間などを創出していく。	東西駅前広場の一体的利用
住環境の保全、住環境の改善・防災機能の向上など、行政と地域が連携し、取り組みを推進していく。	住環境保全 住環境改善
鉄道の立体交差化と併せ整備される側道などを活かし、歴史街道など安全な歩行者空間を確保していく。	歴史街道の整備 安全な歩行者空間の形成
高架下空間の活用なども視野に入れ、地域に不足する施設を整備していく。	高架下空間の活用 駐車場の整備 駐輪場の整備
既存施設や高架下空間の活用を視野に入れ、より便利な駐車場、駐輪場を整備していく。	
高齢者など誰もが便利に、安心して買い物ができる商店街づくりを進めていく。	商業等の活性化 歩行者空間の形成
地域の観光資源ネットワークの強化とともに、イベント等のまちづくり活動などをさらに活発化していく。	河川におけるにぎわい創出 舟運との連携整備
交差点の安全対策、不法駐車対策、バスサービスの充実など、行政と地域が連携し、取り組みを推進していく。	関係機関への働きかけ等



■ 今後の取り組み

まちづくり構想を具体化していくためには、行政だけでなく、今後さらに多くの市民や事業者などと共にまちづくりの推進を図ります。

この構想をもとに、京阪本線連続立体交差事業の具体化に向けた検討をさらに進めるとともに、今後も関係者と協議を重ねつつ、

- ・ 行政が主体となって取り組む施策
- ・ 市民、事業者と行政が共に取り組む施策
- ・ 市民、事業者自らが主体となって取り組む施策

など、この構想の具体化に向けた施策等の検討を進めていきます。

